

# 日本心管理学療法学会 TOPICS

2020年8月23日

## 【近年のトピックス】

### COVID-19 関連情報特別チームについて

日本心管理学療法学会 常任運営幹事 加藤倫卓

日本心管理学療法学会では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する心管理学療法に関連する情報を収集し公開するプロジェクトを、他の分科学会・部門に先駆けて開始しました。このプロジェクトが発足となった2020年4月初旬は、COVID-19患者が日本で急増した時期で、COVID-19が循環器疾患および心管理学療法に及ぼす影響、そして心管理学療法を実施するのにあたっての留意点等の情報が極端に不足している状況でありました。そこで、COVID-19患者の心管理学療法を実施する会員の不安の払拭のため、特にスピードを重視してこのプロジェクトを進行させました。

政府が緊急事態宣言を発令した4月7日から、直ちに学会においてCOVID-19関連情報特別チームのスタッフを全国で急募し、そして、4月16日にチームを編成、その当日から情報公開のための情報収集が開始されました。関連情報をホームページで初めて配信したのは4月21日であり、全国的なスタッフ募集から情報公開まで、わずか10日程度という速さでありました。

COVID-19 関連情報ホームページへのリンク

<http://jspt.japanpt.or.jp/jsqvpt/>

内容としては、海外の専門情報、国内の情報、そしてQ&Aを作成し配信をしておりますが、6月6日現在で、海外の専門情報は41件、国内の情報は137件、そしてQ&Aは37件の情報公開をしており、現在も継続中でありました。これらの情報は、心管理学療法に携わる会員の不安の抑制になったのは疑う余地もなく、また、今後予想されている第2波への備えとしても、十分活用できるものと考えております。

このプロジェクトが、スピード感をもって実行できたのも、社会が混沌とする中でありながら熱い思いと正義感を持って本プロジェクトに協力していただいた会員の方々のお陰であり、ボランティアとしてご参加頂きました47名（運営幹事除く）の方々に心より敬意を表します。

日本心管理学療法学会 COVID-19 対応特別チームの組織図は、2ページ目を参照ください。本プロジェクトは、現在も継続中であり、会員の皆様におかれましては引き続き公開されている情報のご活用を期待しております。

## 全国多施設前向きコホート研究について

日本心管理学療法学会 常任運営幹事 森沢知之

日本心管理学療法学会では以下の三点を目標として全国多施設前向きコホート研究を実施しています。

- (1)循環器理学療法を受ける高齢心不全患者のフレイルの実態を明らかにする
- (2)入院前の身体機能まで回復しないまま退院する高齢心不全患者の割合を明らかにする
- (3)再発予防、重症化予防を最優先の課題ととらえ、高齢心不全患者の予後とその関連因子を調査する

6月に開催した研究説明会には全国から200施設を超す参加があり、学会会員の皆さんの関心の高さがうかがえます。現在、多くの施設が自施設の倫理委員会に申請中ですが、すでにデータ登録を開始した施設もあります。

これからの研究参加も歓迎いたしますので、研究参加をご検討中の施設は事務局までご連絡ください。

研究ホームページへのリンク

<http://jspt.japanpt.or.jp/jsvcpt/academic/180.html>

研究問合せ先 e-mail: t.morisawa.ul@juntendo.ac.jp

## 第5回日本心管理学療法学会学術大会について

日本心管理学療法学会 運営幹事 近藤和夫

学術大会は年1回開催し、本年度は9月5日(土)札幌市において第5回日本心管理学療法学会学術大会を企画しておりましたが、COVID-19の拡大防止の影響を鑑み、1年程度の延期を決定いたしました。ご参加を予定していた皆様にはご迷惑をおかけいたしました。何卒ご理解賜わりますようお願い申し上げます。

来年は、同じく札幌市で8月下旬～9月上旬の開催を予定しておりますが、会期、プログラムなど詳細につきましては今後ホームページ等にて順次ご案内させていただきます。

本学術大会では「運動処方について考える」をテーマとし、様々な運動処方とその効果について検討し、本分野の発展に寄与したいと考えております。例年より口述発表枠を増やし、心管理学療法の基本について理解を深めていただくための「教育セミナー」も予定しています。初学者からエキスパートまで、心管理学療法に関わる多くの方々にご参加いただき、活発な議論をしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 【今後充実を図りたいこと】

### 日本心血管理学療法学会は学会法人化を目指します

日本心血管理学療法学会 副代表運営幹事 櫻田弘治

当学会は運営幹事の全会一致で、令和3年4月より学会を法人化すべく手続きをすすめております。学術の推進と専門職としての情報発信力の強化を目的に、自律性の高い学術活動を目指します。運営幹事一同、会員の皆様に信頼される学会として成長できるよう尽力いたします。